



『ひつじからさるへ』ウキー!! (宇野沢君作)

礎

発行責任者 渡 辺 太
 発行 三春町商工会青年部
 総務委員会
 委員長 黒羽 雄一
 発行日 平成16年3月30日
 印刷 土 棚 印 刷



青年部部长 渡辺 太

総会に於いて部長に就任してから、早いもので1年が過ぎようとしております。大変忙しい年でもありますが、役員はじめ部員の皆様に支えられながら充実した活動を行う事ができました。また、青年部活動を通じて、この1年間、本当にたくさんの方と出逢いました。この方々から沢山のことを学び、刺激を受け、貴重な体験もさせて頂きました。これらの出逢いや経験を無駄にせず、これからの青年部活動に生かして行きたいと思っております。

さて、昨年の事業を振り返りますと、各委員会の事業を中心に活動してまいりました。総務委員会でを行いました青年部の集い、青年部会報「礎」発行、厚生委員会によるレクリエーション事業、本部事業としては、

姉妹都市である一ノ関産業祭への参加、京都観光PR研修、田村郡広域連携事業など大変多忙な一年でした。また、昨年試験的に行いまして桜スタンプラリーも大変好評であり、今年4月には第2回桜スタンプラリーを実施することとなりました。昨年は遠方より、数多くの観光客が滝桜、三春町内へ訪れ、スタンプラリーへも沢山の方の参加がありました。今年はさらに内容を充実させ、さらに多くの観光客を町内へ誘致し、三春町のPR、活性化に務めていき、今後このような事業を積極的にを行い、青年部という立場から、また将来の中核として三春町がもっと素晴らしい町になるように考えて行きたいと思っております。

そして、今年、平成16年は三春城築城500年という記念すべき年でもあります。商工会としても実行委員会が結成され、秋の500年祭イベントへ向けて、現在事業計画が進められております。我々青年部も、築城500年祭へ向けて、新しい三春町の創造と地域の活性化を目的

として事業を展開すべく、現在活発に活動しております。この記念すべき500年を契機とし、三春史500年を振り返り、新たな三春史を模索し、賑わいと活気のある三春町を築き、町民が一体となれる記念すべき飛躍の年にして行きたいと思っております。

最後に、今、私達を取り巻く状況は以前にも増してさらに厳しい状況になっております。そして、この激変時代の中、新しい時代に対応すべく我々自身も変わらなければなりません。我々商工会青年部も商工業後継者の一員として、他の誰かに頼るのではなく、自らが考え、自分の手で切り拓いていくことが求められていきます。たとえ一人でも、失敗を恐れず、何かに向かって挑戦する時、人々の心を動かし、時代さえも動かす事ができると確信しております。「青年が動く時、地域は変わる」を合言葉に、これからも青年部一丸となり、社会に貢献する町づくりの推進力となり、地域の活性化、商工業の発展へと務めて行きたいと思っております。

平成15年度事業報告

- 4/5、27 三春桜スタンプラリー
- 6/7 商工会の日 清掃
- 6/27 町との懇談会
- 7/3 スタンプラリー抽選会
- 8/5 郡青連協スポーツ大会
- 9/4 郡青連ゴルフ大会
- 9/13 第3回YOSAKOIまつりボランティア
- 10/7、9 一関地方産業まつり
- 10/11 「ばんどうプラザ」開設10周年記念イベント参加
- 10/24 青年部員のつどい「渡辺雅晴氏」
- 11/21 ボウリング大会
- 12/3 第5回ゴルフ大会
- 12/3 忘年会
- 12/19 献 血
- 1/23 新年会
- 2/9 京都観光PR事業

築城500年祭

イベント予定

- 4月 スタンプラリー
- 6月 お笑いライブ
- 11月 産業祭





築城500年を迎えて

三春町は、1504年に戦国大名田村義顕が、本城を三春に定めから500年目を迎えました。この間三春は、三春城を中心として町（城下町）が築かれ発展してきたわけです。その変遷は、別に掲げた略年表のとおりですが、この500年は次のような特色のある時期に分けて考えることができます。

- (1) 戦国大名田村氏が、清顕の時代に伊達政宗と愛姫と婚姻関係を結び、伊達・田村連合によって勢力を伸ばし維持した時代。
- (2) 信長・秀吉の時代から江戸時代の初期にかけて、天下統一と徳川氏による全国支配体制が確立される時代。
- (3) 江戸幕府による全国支配体制が確立された時から、江戸時代が終わるまでの比較的安定していた時代。
- (4) 明治政府が成立し、近代国家建設のために国全体で努力した時代。

以上、あまりにも乱暴な分け方ですが、それぞれの時代に、三春を中心としたこの地域で生きた人々の精一杯の努力が、今の三春町を築いてきたことを忘れてはならないと思います。500年という記念すべき年にあたり、三春の歴史を振り返り、これからの三春を考えることは、大変意義深いことだと思います。

三春町歴史民俗資料館館長 佐久間 真

築城500年の歩み

| 年 | 事項 |
|--------------|---|
| 永正元年(1504年) | 田村義顕が三春大志田山に居城を移す |
| 天文6年(1535年) | 田村隆顕、蘆名盛氏と攻守同盟を結ぶ |
| 天正4年(1576年) | 田村清顕、片平を攻める白川城を落とす |
| 天正7年(1579年) | 清顕の息女愛姫、伊達政宗に嫁す |
| 天正14年(1586年) | 清顕死去 |
| 天正18年(1590年) | 田村宗顕改易となる |
| 天正19年(1591年) | 蒲生氏郷会津入部 田村地方会津領となる |
| 寛永4年(1627年) | 加藤明利三春三万石を領す |
| 寛永5年(1628年) | 松下長綱三春三万石を領す |
| 正保元年(1644年) | 三春松下氏改易となる |
| 正保2年(1645年) | 秋田俊季、三春への所替えの命令を受ける。以後11代226年にわたり、秋田氏が三春を領す |
| 明治元年(1868年) | 戊辰戦争起こる 7月26日三春藩降伏 |

平成15年度企画厚生委員会の活動報告

今年も、1年たつのがとても早く感じられました。11月21日は毎年恒例のボーリング大会が開催され部員はもちろん、その家族も白熱したゲームを展開しました。会場が変更になって交通の便でご不便をおかけしました。



今回は講師に有りがね屋専務の渡辺雅晴氏を迎え「商売に対する思い!!」を熱く語っていただきました。

青年部員のつどい

12月3日には部員たち要望もあつての忘年会を開催することができました。初の企画でしたが予想以上に大盛況でした。またその日は第5回青年部ゴルフ大会も開催されました。優勝者は



スタンプラリーを実施して

今年度もまた八幡町からでした。早朝から晩まで企画徹しの1日でした。12月19日には献血を実施しました。若干名でしたがご協力ありがとうございました。さらに多数のご協力をお願いします。平成16年に入り1月23日の新年会も、大いに盛り上がりました。最後に、今年度1年間無事に活動ができたことに対して部員をはじめ関係者のご協力ありがとうございました。次年度も、充実した中味ある企画厚生委員会の活動に期待します。 国分 章克

今年度三春町でも初の試みだというスタンプラリーを実施しました。目的は、滝桜だけでなく町内への観光客の流入・回遊としてアンケートをつけることによつて、今、三春町・三春町の商店街へ他の町から来る人たちがどのような感想を持つか調査するためでした。最初はそんなに参加する人はいないんじゃないかとの声もありましたが、実際にスタンプラリーの台紙を持つて町内を歩く人を頻繁に見ること

ができ、回収されたアンケートにも私が思っていた以上にいろいろな意見があり今後の商店街のあり方など参考になつたと思います。成功するかどうか不安がありましたでしたが結果を見れば成功だつたと思います。今後引き続きこのスタンプラリーが継続されれば、町内への観光客の誘致への大きなツールのひとつとして期待することができます。 庶務会計 内藤 耕力

プライバシー保護

一関地方産業まつり!!

毎年恒例となりました一関産業まつりに今年も三春町を代表しまして我が青年部も参加してまいりました。



一関のお客様にもだいぶ三春の「三角油揚げ」や「ゆべし」が浸透してきたようで、今年は例年より多く品物を持っていき、売れるか心配していましたが、その気持ちをよそに品物の売れ

行きは良く、大盛況の内に産業まつりを終える事ができました。協賛していただいた各店の方々ありがとうございました。



ミュージックフェスタ



今年は場所を「まほら」に移し、初めてのミュージックフェスタとなりました。青年部員は「一日縁日」というテーマを掲げ、くじ引きやヨーヨー釣りなどの模擬店を出し、ご家族やお子さんに喜んでいただけたのではないかと思います。

青年部 NEW FACE



白谷 夏樹

八幡町支部
（有）小野寺斧六商店
昭和42年4月28日

できる限り商工会の活動に協力し、三春町商工会の発展にお役に立ちたいと思っております。

阿部 研次
八幡町支部
（有）阿部材木店
昭和51年2月6日

青年部員として少しでもみなさんの役に立ちたいと思っております。



吉田 将史
荒町支部
（有）グリーンフロント
昭和49年4月4日生

不動産業を営んでおります。お客様の大切なお住まいをサポートしていきたいと思っております。若輩者ですので、今後ともよろしくお願い致します。

卒業生紹介

ご苦労さまでした

吉村 剛

私が商工会青年部に入部して何年たったか忘れましたが、もう青年部を卒業する年になりました。

私が青年部に入って一番の財産は、いろいろな職種の友人や先輩方々と知り合いになれたことです。

私は、入部した時、自分が楽しくなければ活動できないと思っていました。それなりに楽しかったです。皆さんも楽しく、無理せずほどほどにがんばってください。大変お世話になりました。

心こそ大切なれ

斎藤 善之

我々青年部員は様々な組織や団体に属し、しかも多くの要職を担う存在である。

我々の成長が組織の成長であり、三春町の発展であることは、言うまでもない。

ならば「一生空しく過ごして万歳悔ゆることなかれ」である。日々新たに、いよいよの気概で満々たる闘志を燃やして生きていきたい。「冬は必ず春となる」である。現役青年部の皆様、OBの皆様、大変にお世話になりました。

第2回「京都物産PR」実施!!

とき 2月8日～10日
ところ 京都「清水寺門前 順正」

昨年につづき、京都順正にて、地元の物産を来場者に対してPRを実施しました。2回目ということもあり、準備に余裕はあったが、移動中の大雪には少々参りました。



▲ゆどうふ 食べくら大会の様子



町との懇談会

青年部としては初の試みとして、町（役員職員）との腹を割った対談（今まで聞きたかった事、これからの町の行方：など）を行い、とても有意義な会になりました。

